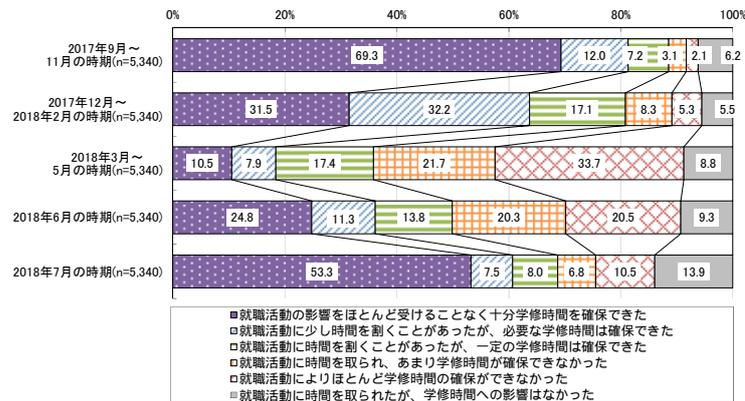


## 第5章 文系・理系別の集計

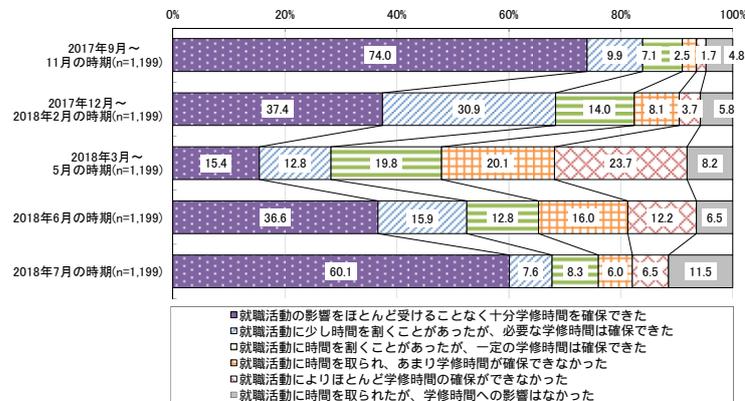
### 文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、大学4年生・大学院2年生のそれぞれについて文系・理系別に集計すると、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生ではすべての時期、また、大学院2年生では「2018年3月～5月」を除いたすべての時期において、理系の学生の方が高くなっている。

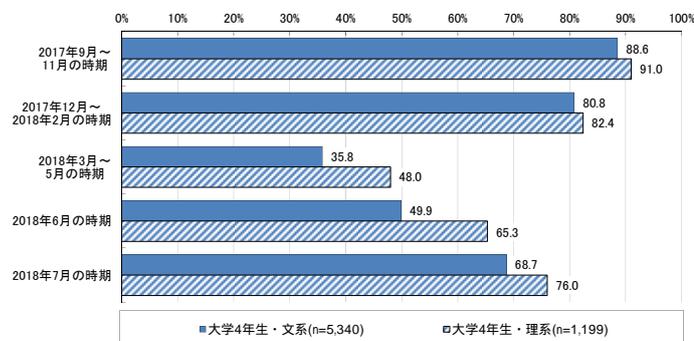
図表 5-1-1 大学4年生の文系・理系別、就職活動と学修時間確保の状況  
(文系)



### (理系)

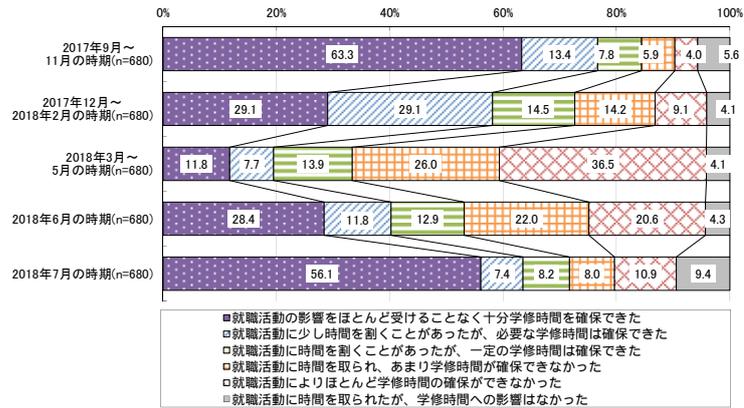


### (文系・理系別比較)

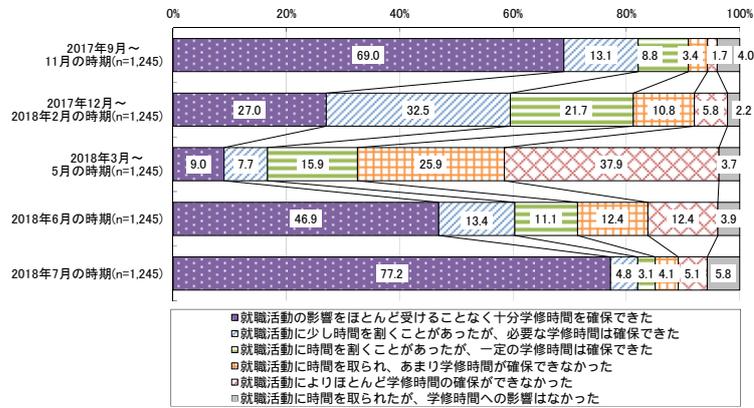


※ 「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

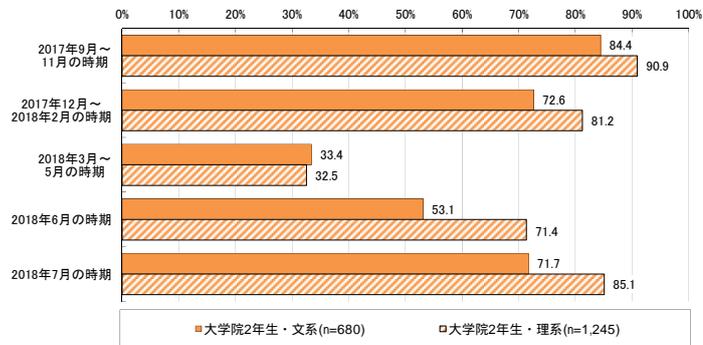
図表 5-1-2 大学院 2 年生の文系・理系別、就職活動と学修時間確保の状況  
(文系)



(理系)



(文系・理系別比較)

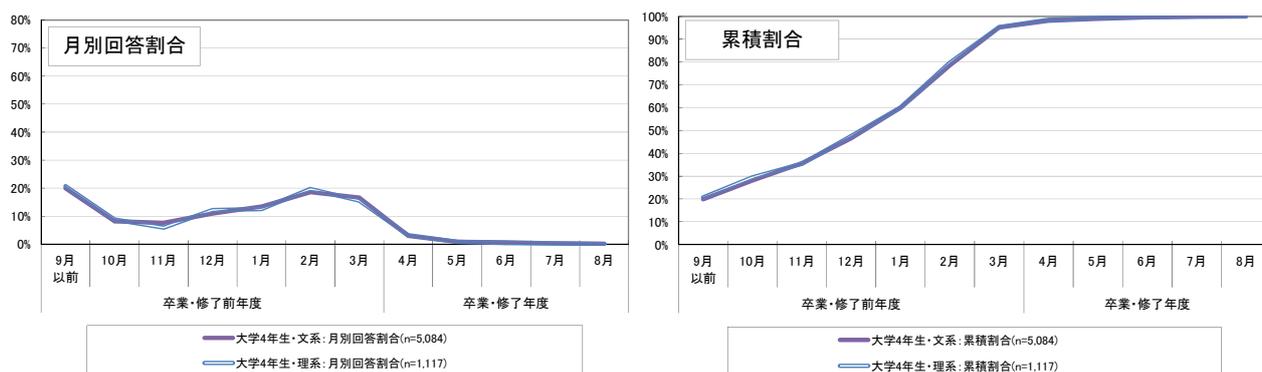


※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

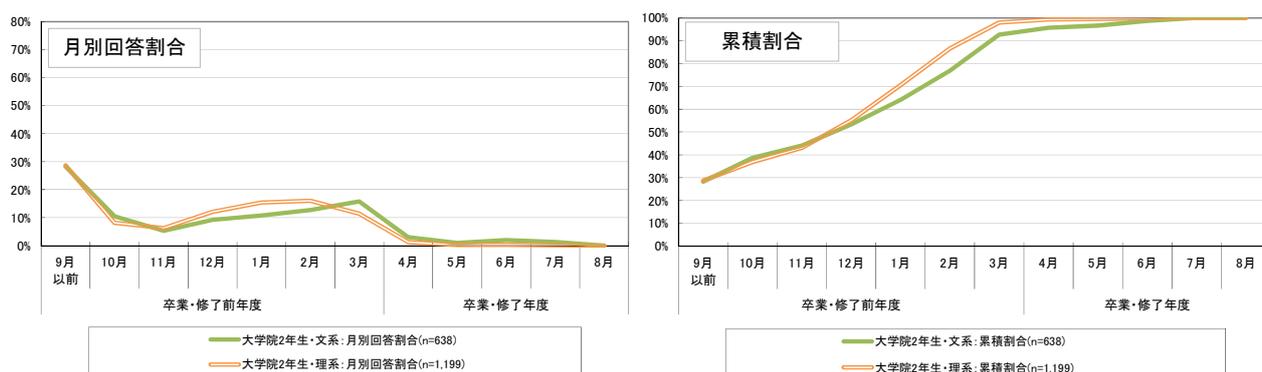
## 文系・理系別の業界や企業に関する分析を開始した時期

文系・理系別に、いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかを集計すると<sup>70</sup>、大学4年生は文系・理系ではほぼ同様の結果となっている。大学院2年生では、2017年11月までに開始した割合は文系・理系で同程度となっているが、それ以降の時期は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

図表 5-2-1 文系・理系別、業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学4年生)



(大学院2年生)



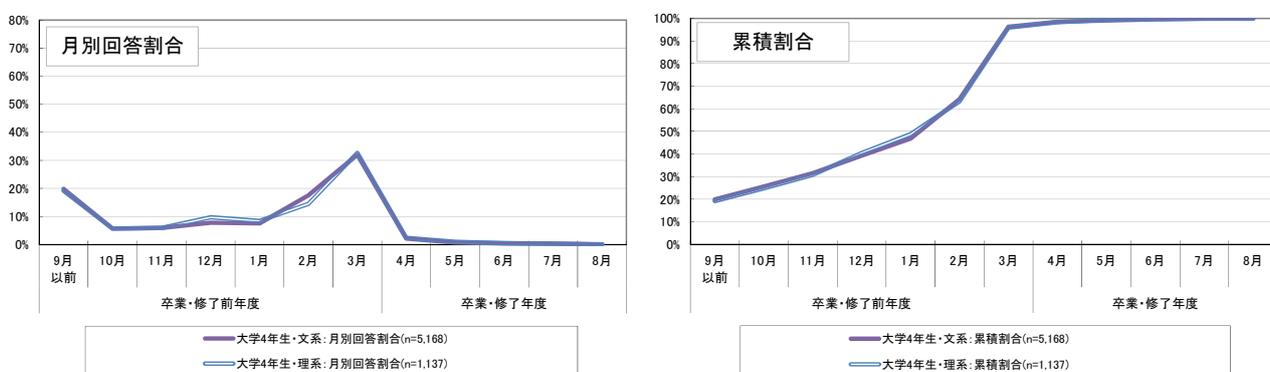
<sup>70</sup> 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

## 文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

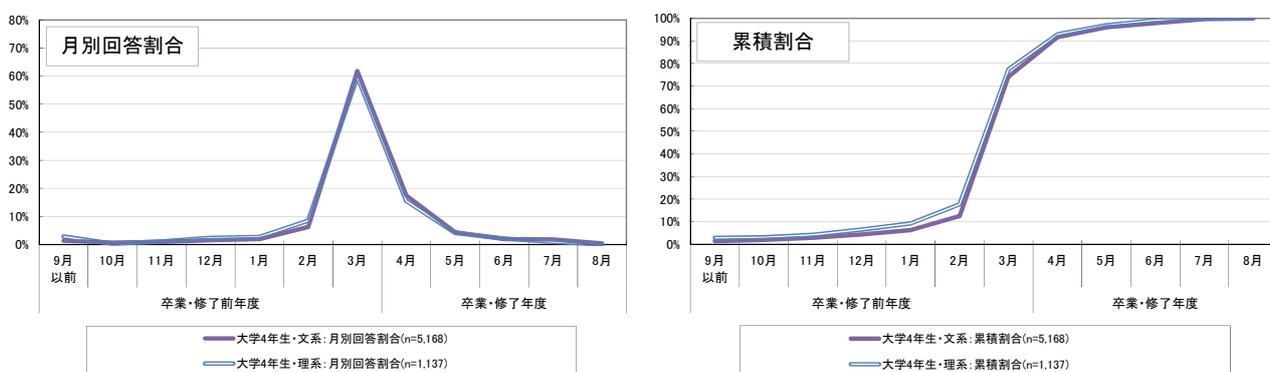
文系・理系別に、企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」をそれぞれ集計すると<sup>71</sup>、大学4年生では、「最初に参加した時期」と「参加のピーク」は文系・理系とで概ね同様の結果となっているが、「最後に参加した時期」については、理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。なお、大学4年生の企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生が26.9社、理系の学生が18.8社となっている。

大学院2年生では、「最初に参加した時期」は1月までの時期は文系の学生の方が早期の回答割合が高いが、それ以降の時期は同程度の回答割合になっている。「参加のピーク」及び「最後に参加した時期」は、2月までの時期は文系の学生の方が早期の回答割合が高いが、それ以降の時期は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院2年生の企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生が17.8社、理系の学生が18.0社となっている。

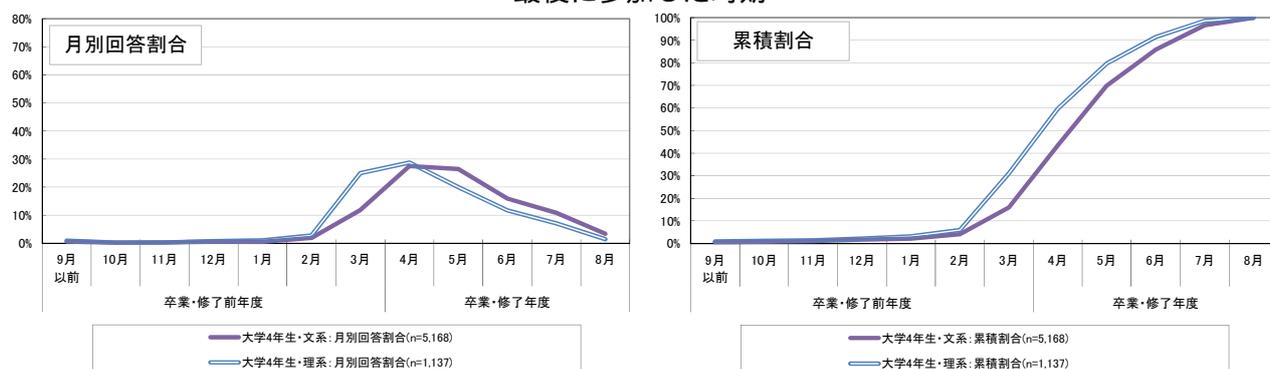
図表 5-3-1 大学4年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期  
 <最初に参加した時期>



<参加のピーク>

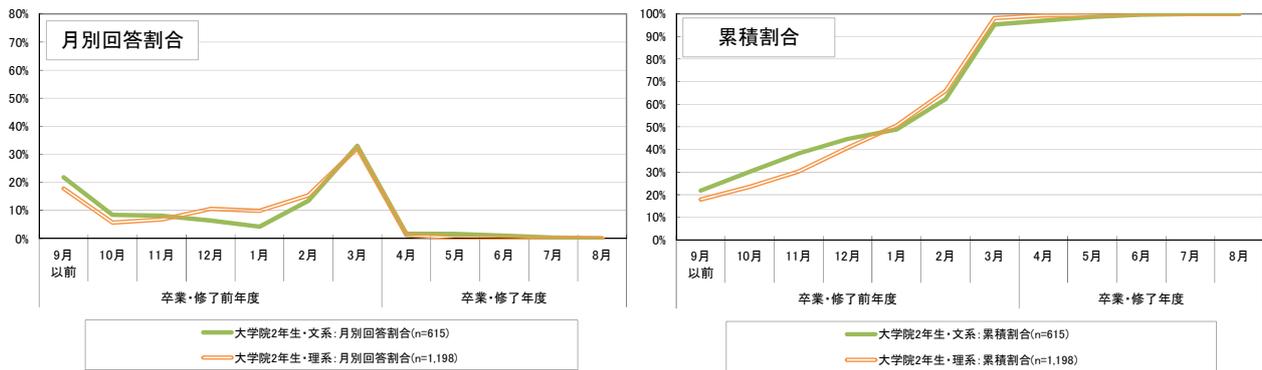


<最後に参加した時期>

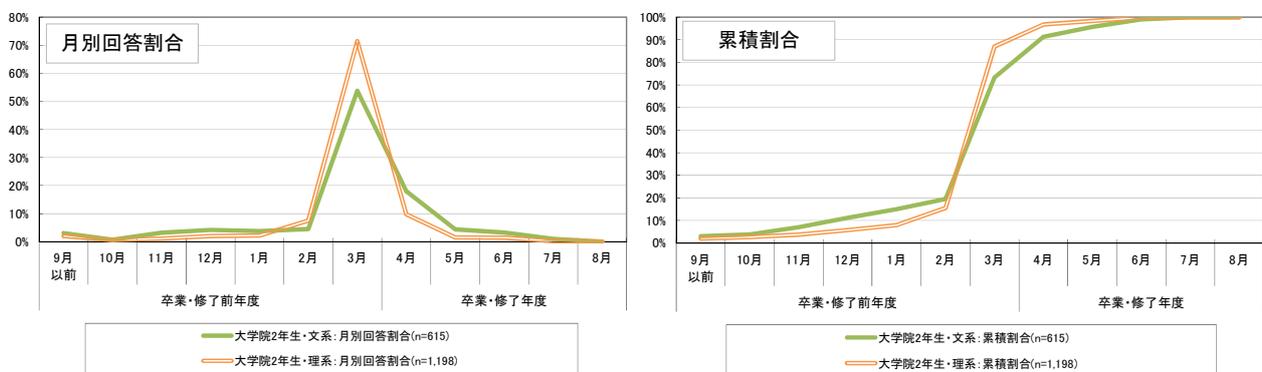


<sup>71</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

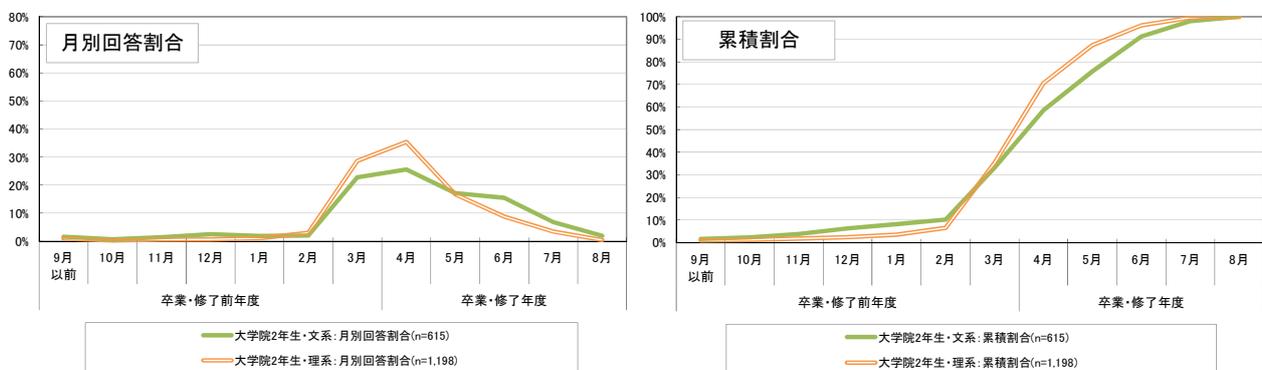
図表 5-3-2 大学院2年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期  
 <最初に参加した時期>



<参加のピーク>



<最後に参加した時期>

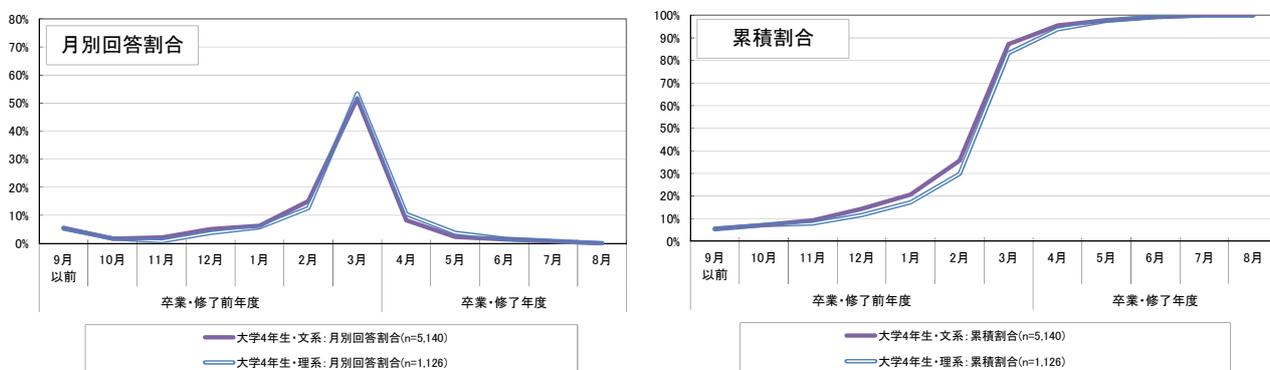


## 文系・理系別のエントリーシートの提出状況

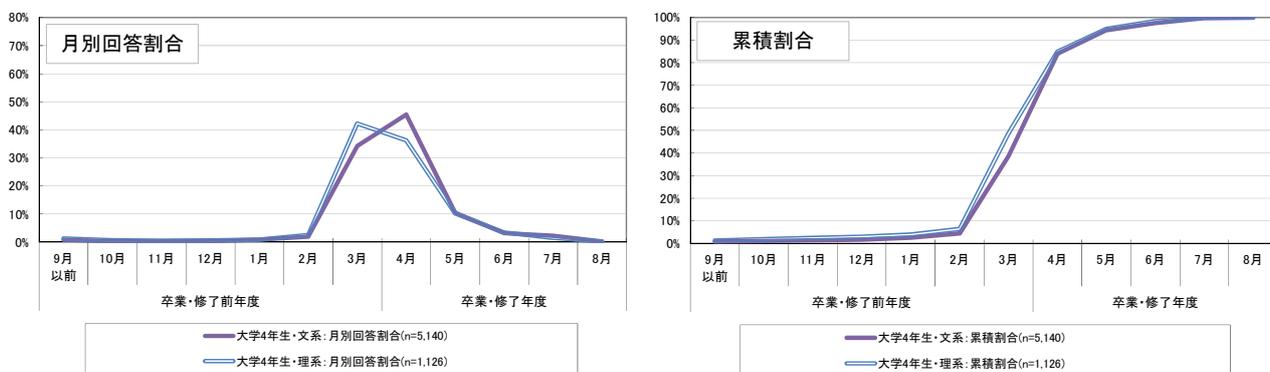
文系・理系別に、エントリーシートの提出時期について、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」をそれぞれ集計すると、大学4年生では、「最初に提出した時期」は文系・理系とで概ね同様の結果となっているが、「提出のピーク」及び「最後に提出した時期」については、理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。なお、大学4年生のエントリーシート提出数の平均値は、文系の学生が17.1社、理系の学生が11.2社となっている。

大学院2年生では、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」のいずれについても、2月までの時期は文系の学生の方が早期の回答割合が高いが、それ以降の時期は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院2年生のエントリーシート提出数の平均値は、文系の学生が13.6社、理系の学生が12.0社となっている。

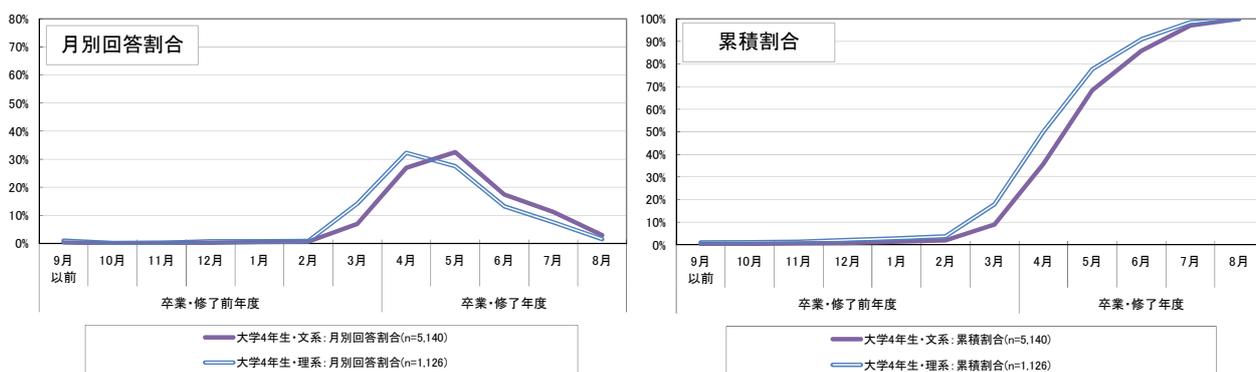
図表 5-4-1 大学4年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期  
 <最初に提出した時期>



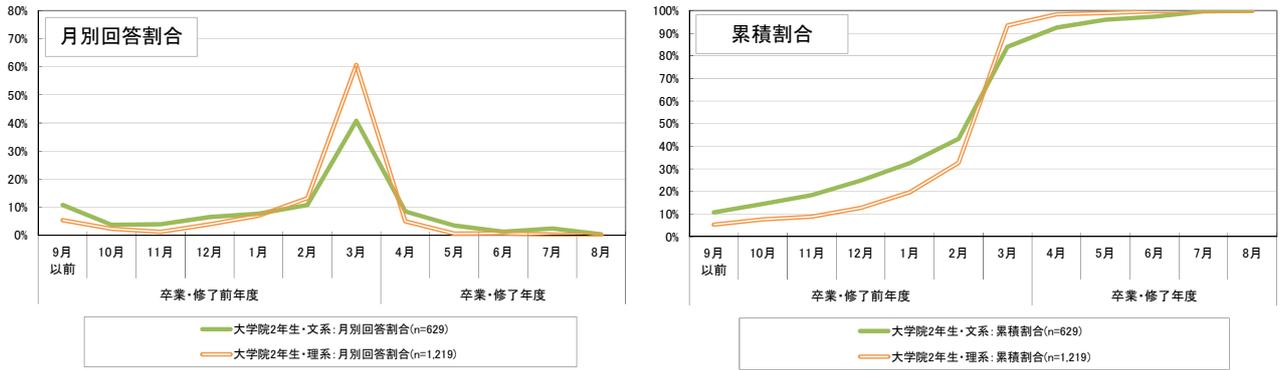
### <提出のピーク>



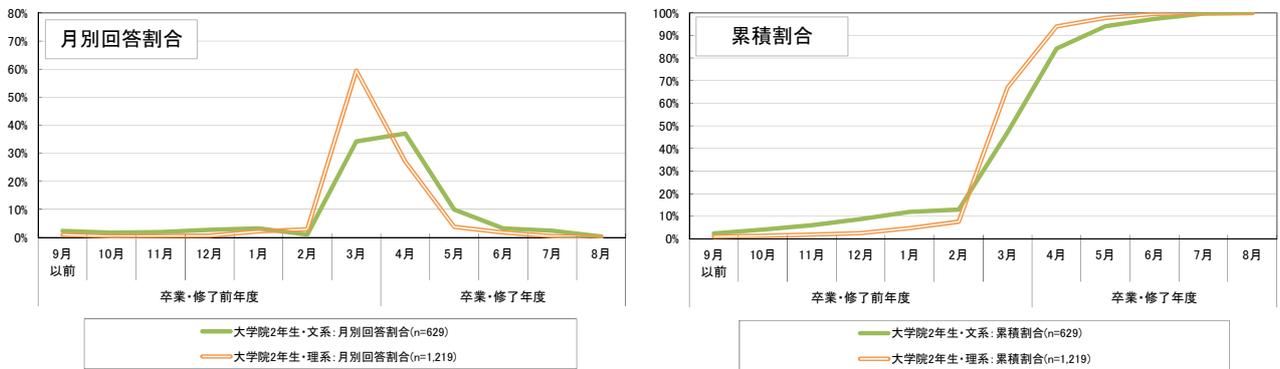
### <最後に提出した時期>



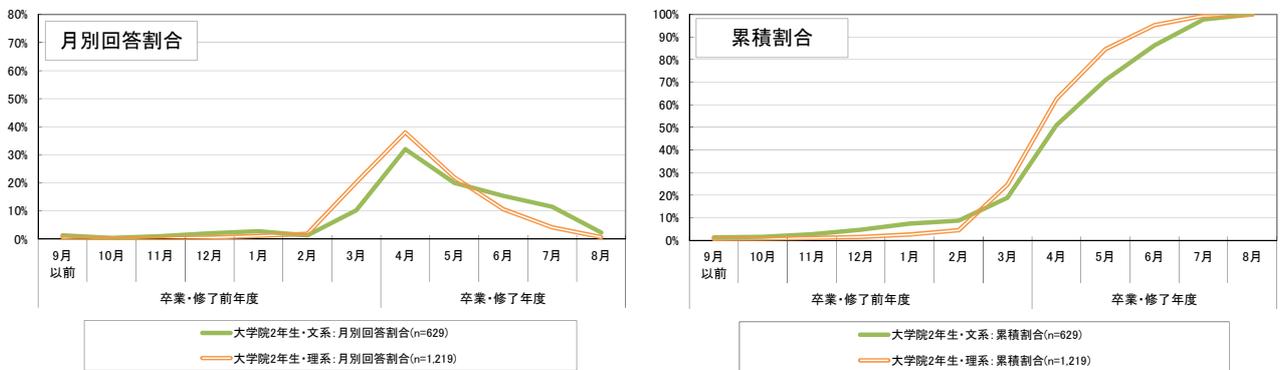
図表 5-4-2 大学院 2 年生の文系・理系別、エントリーシート提出時期  
 <最初に提出した時期>



<提出のピーク>



<最後に提出した時期>

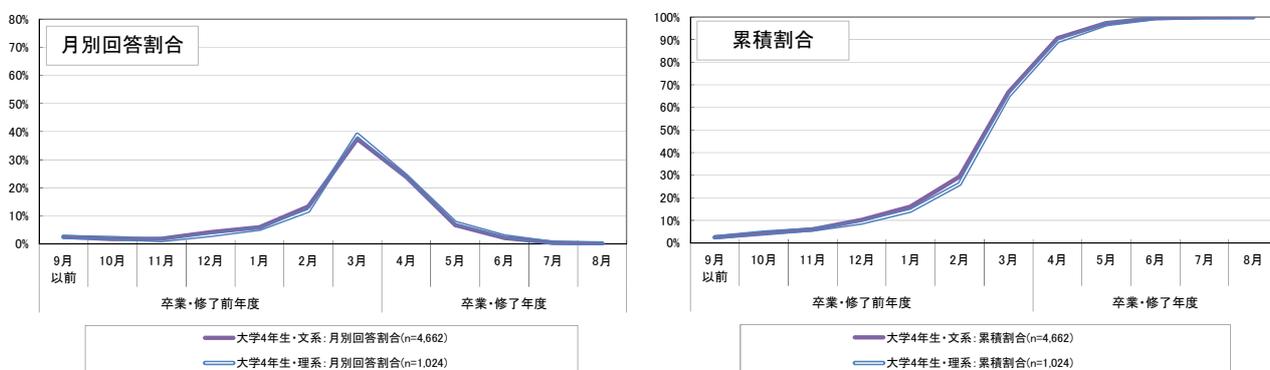


## 文系・理系別の採用面接の実施状況

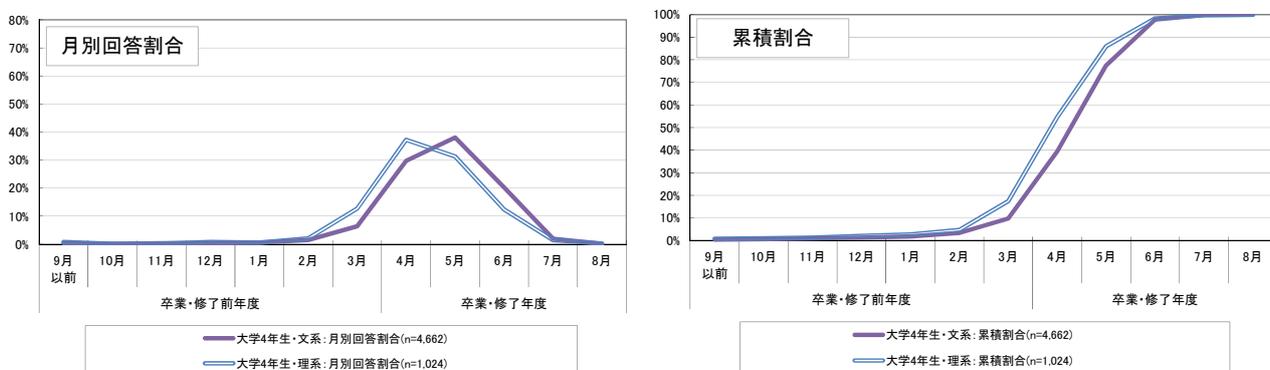
文系・理系別に、採用面接<sup>72</sup>の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」をそれぞれ集計すると<sup>73</sup>、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系・理系で概ね同様の結果となっているが、「採用面接のピーク」及び「最後に受けた採用面接の時期」について、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学4年生の採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生が12.0社、理系の学生が7.9社となっている。

大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」については文系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっているが、「採用面接のピーク」及び「最後に受けた採用面接の時期」については、理系の学生の方が全体としてより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院2年生の採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生が9.6社、理系の学生が7.6社となっている。

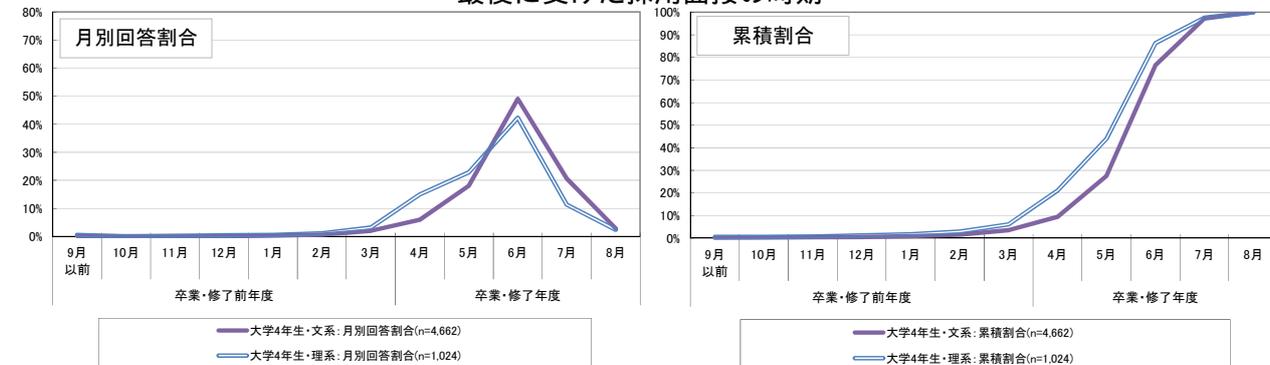
図表 5-5-1 大学4年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）  
 <最初に受けた採用面接の時期>



### <採用面接のピーク>



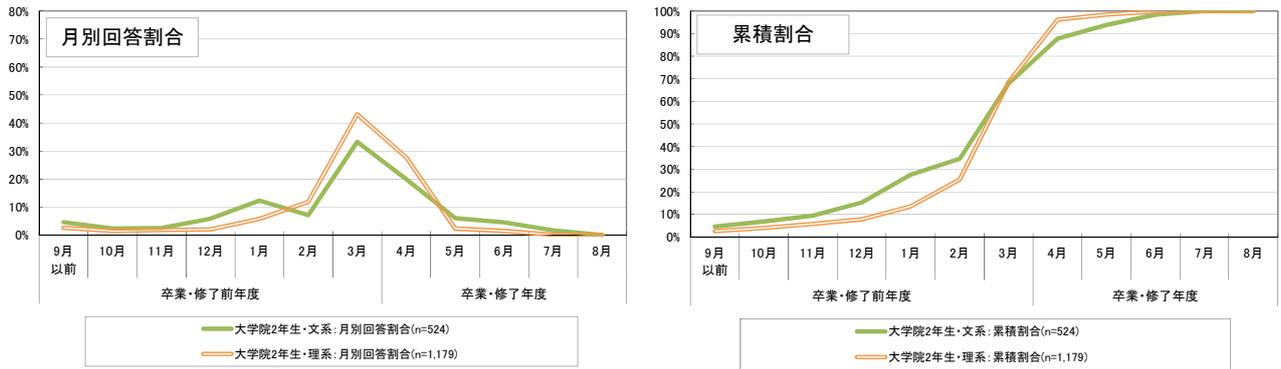
### <最後に受けた採用面接の時期>



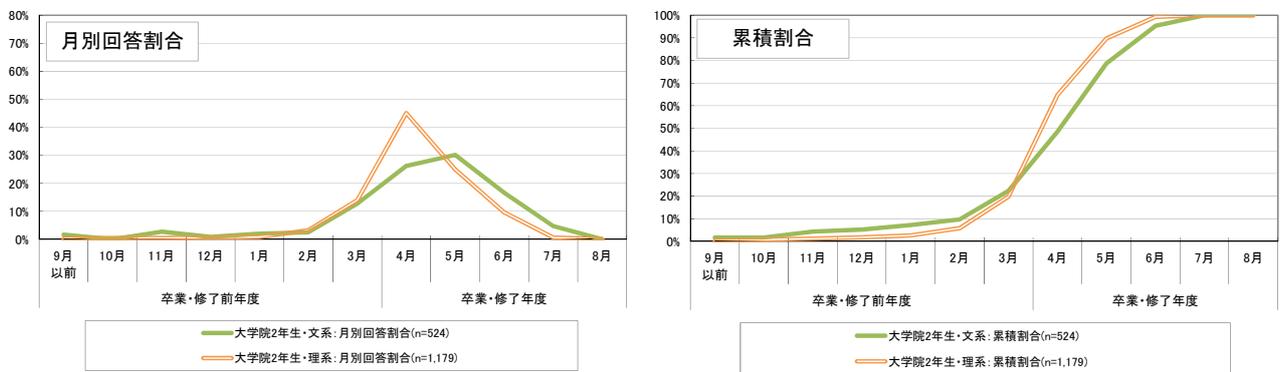
<sup>72</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>73</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

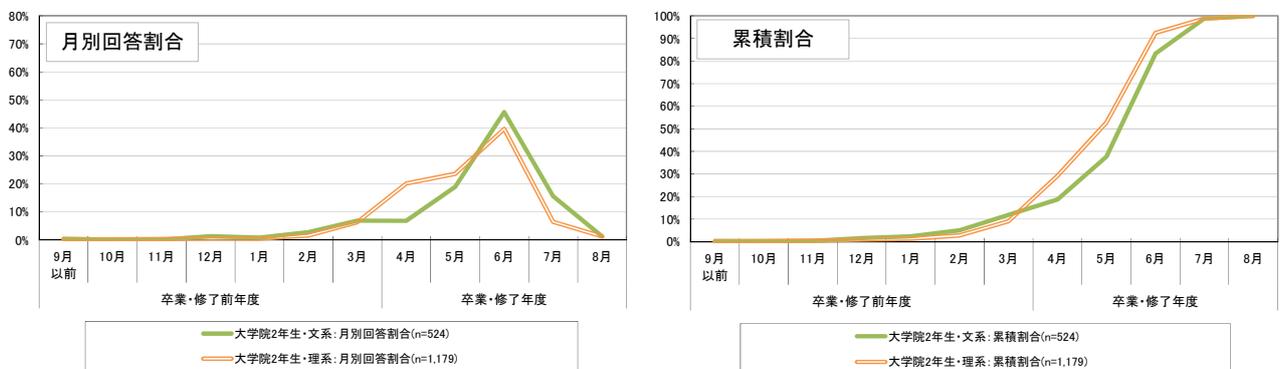
図表 5-5-2 大学院2年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）  
 < 最初に受けた採用面接の時期 >



< 採用面接のピーク >



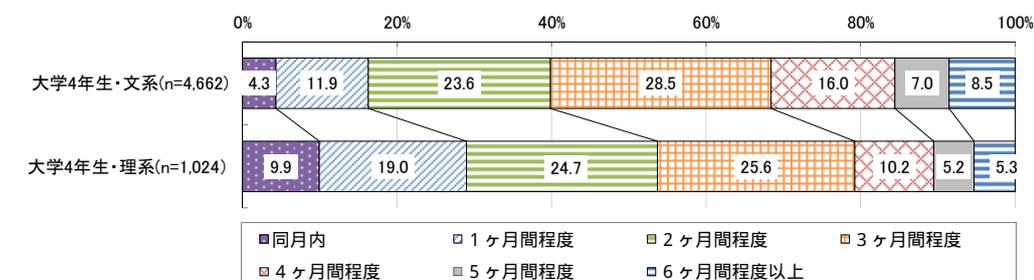
< 最後に受けた採用面接の時期 >



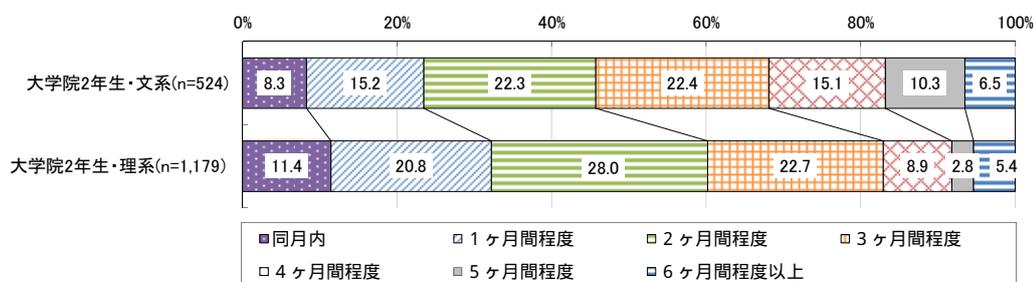
## 文系・理系別の最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

文系・理系別に、「最初に受けた採用面接の時期」<sup>74</sup>から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると<sup>75</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、文系の学生よりも理系の学生の方が期間が短い者の割合が高い傾向にある<sup>76</sup>。

図表 5-6-1 文系・理系別の最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>74</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で得られた回答である。

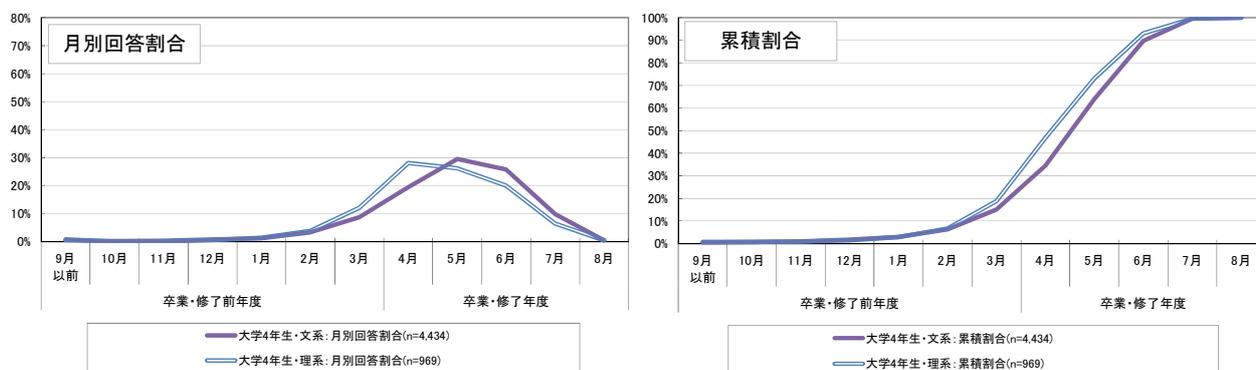
<sup>75</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>76</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

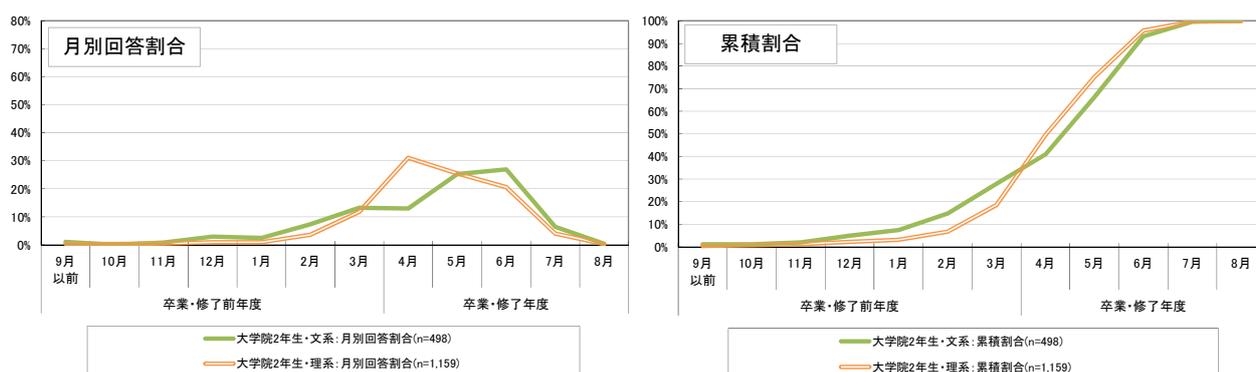
## 文系・理系別の内々定を受けた時期

文系・理系別に、内々定を受けた時期について集計すると<sup>77</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生では「4月」の回答割合が高くなっている。

図表 5-7-1 文系・理系別、内々定を受けた時期  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

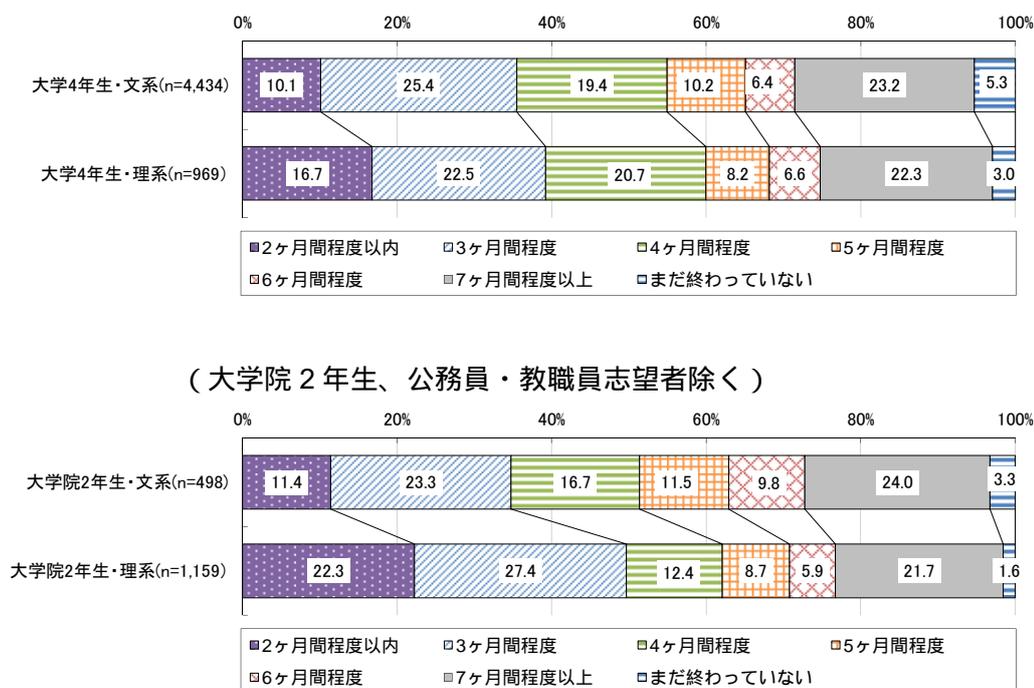


<sup>77</sup> 1 社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

## 文系・理系別の就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間<sup>78</sup>について集計すると<sup>79</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生の方がより短い期間の割合が高い傾向にある。

図表 5-8-1 文系・理系別、就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>78</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

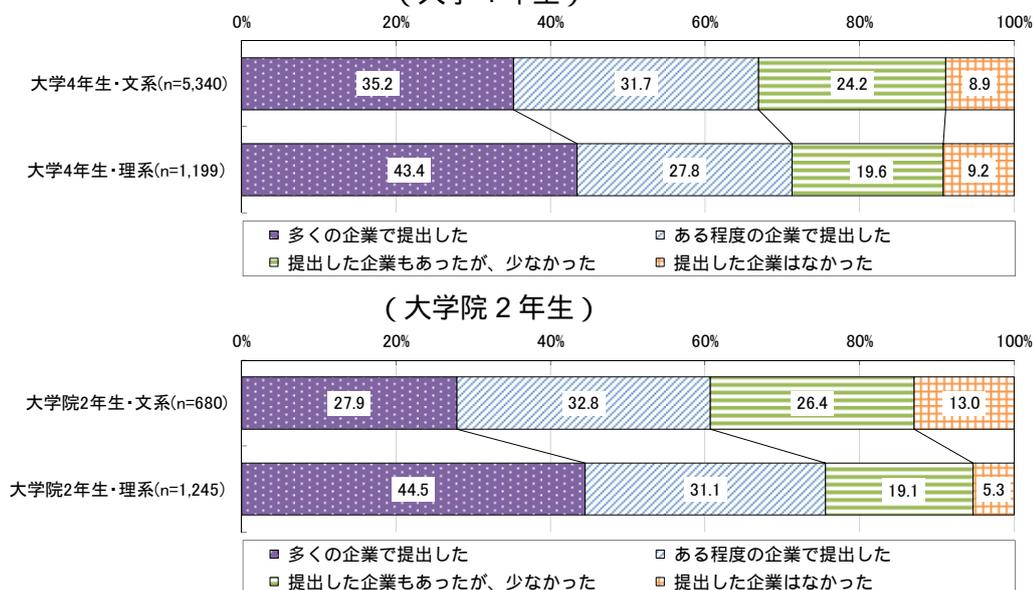
<sup>79</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

## 文系・理系別の学業重視の選考

文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

図表 5-9-1 文系・理系別、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況  
(大学4年生)



図表 5-9-2 文系・理系別、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか  
(大学4年生)

